

## 日本代協コンベンション参加についての感想

### 1日目

茨城代協から飯島さんが長年の活動に功労賞を頂き、身近なところで見られて、嬉しく思いました。

その後、野村修也さんの“人工知能（AI）は私たちの暮らしをどう変えるか”でしたがAIが人（マイナンバー個人情報等）、IOT（もののインターネット）、カネ（FINTECH）など暮らしに変化がでてきて、代理店業務にも色々波が押し寄せている。その中で人間力とネットワークを使って人間にしかできない、共存共栄をめざせば仕事はあるというお話がありました。

### 2日目

私は分科会の中崎ゼミでした。

デジタル社会化と代理店ビジネスの活路～コンパクト代理店が躍動する新たな地平を考える～

顧客が変わるの中で若年層世代ほどプロのアドバイスをもとめている、むしろ、60代、70代の世代は相談をしない、若年層の70%の方が専門家に相談したいという傾向にとっても参考になった。

デジタル社会化は規模信仰、垂直・ピラミッド型ビジネスから水平・ネットワーク型へのシフトチェンジの局面を

招来する。コンパクトでも小回りが利いて顧客に的確な対応が採れる代理店経営を実践してほしい、これまでの保険販売業から生活支援業、事業経営支援業としての自己確立をしてほしい。

そのための問題解決支援力向上のために、志を同じくする同業の仲間づくりや異業種の専門家や事業体との緩やかな協力のオープンネットワーク構築を進めてほしい。まさに規模（サイズ）ではなく付加価値、品質競争の時代に入ったのだからという内容がとても共鳴を覚えました。

以上

有限会社きのうちエージェンシー  
木之内 美智子